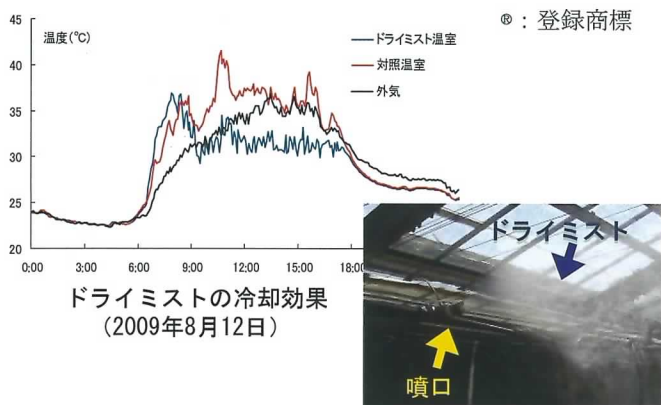


研究トピックス

超微粒ミストの冷却効果

気化熱を利用した超微粒ミスト（ドライミスト®）の園芸施設での利用技術を研究しています。2009、2010年の夏の試験では、施設内の気温は5～7℃低下し、湿度は70%程度となりました。現在はトマト、バラ、花壇苗で実用化に向けた試験に取り組んでいます。
（園芸研究部）



ダイズほ場で問題となっている 雑草ホオズキ類の除草法

愛知県内のダイズほ場で、収穫時の汚粒の発生原因となる雑草ホオズキ類が発生し、問題になっています。そこで、ダイズ生育期に乗用管理機でリニュロン水和剤を畦間・株間に散布する除草法を検討しました。

その結果、ホオズキ類に対し除草効果が高く有効な除草法であることが分かりました。
（作物研究部）



乗用管理機による
畦間・株間散布



ヒロハフウリンホオズキ

メボウキ（バジル）の新病害 メボウキ菌核病

メボウキに、茎が褐変し地上部が枯死する症状が発生しました。この病原は、スクレロチニア・スクレロチオラムという糸状菌であることがわかり、メボウキ菌核病と命名しました。病斑部に形成される黒色の菌核は、次作以降の伝染源になるので、被害株・被害残さは圃場から除去、処分しましょう。
（環境基盤研究部）



被害の様子
(茎が褐変して枯死)



キノコ(子のう盤)の
発生した菌核
(子のう盤上に胞子を
形成し飛散する)

ハウスミカン早期加温栽培の 結果母枝の充実にはN A Aが有効

ハウスミカンの早期加温栽培では、加温後の着花揃いを良くするためには、せん定後に発生した夏枝（結果母枝）を充実させることが重要です。

夏枝からの夏秋梢の伸長抑制を目的として、1-ナフトレン酢酸ナトリウム水溶剤（N A A）とエチクロゼート乳剤を散布したところ、加温後の着花量は同等ですが、N A A散布ではデンプン蓄積が多く、充実した結果母枝とすることが分かりました。
（園芸研究部）



N A A 散布区での
着花状況

編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1
TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部)
FAX 0561-63-0815
<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>